



# 医療教育開発センター ニュースレター

## NEWS LETTER

Vol.20

## Contents

- 1 巻頭言
- 2 副センター長の紹介

## 1 巻頭言



## 医療教育開発センター長 赤池 雅史

医療教育開発センターは、医療系全領域にわたる教育・研究・診療組織がひとつのキャンパスに集約している徳島大学の強みを基盤として、医療系学部・教育部の各組織を繋いだ教育連携支援を行うことで、高度専門医療人や優れた生命科学研究者の育成を目指しています。大学院教育としては、共通科目 e-learning、英語プログラム、Tokushima Bioscience Retreat、教育クラスターの実施支援に取り組み、その全学的発展を含め、教育プログラムの継続的評価と改善に取り組みます。専門職連携教育については、1年次「チーム医療入門」に続いて、「学部連携PBLチュートリアル」の正課とし

での実施を拡大し、多職種カンファレンスによるチーム医療臨床実習へと繋がる「学年積み上げ式専門職連携教育プログラム」の確立を目指したいと思っております。シミュレーション教育については、昨年度開設された外科手術トレーニング専用のスキルス・ラボ3を拠点として、メディカルトレーニング・ラボやクリニカルアナトミー・ラボと連携して、卒前卒後一貫の低侵襲手術手技トレーニングプログラムの充実に取り組みます。また、医療系学部の基本的診療技能やフィジカルアセスメント等の教育、模擬患者参加による医療コミュニケーション教育にも積極的に参画して、その充実をはかりたいと思っております。皆様のご指導ならびにご支援を引き続きよろしくお願ひ致します。

## 2 副センター長の紹介



大学院医歯薬学研究所 医学域医科学部門 医療教育学分野 准教授  
吾妻 雅彦

多職種連携教育推進ワーキンググループ(WG)長として、蔵本地区医療系学部の職種連携教育に携わっています。現在、実施されている実習が、各学部の特性を活かした充実した実習になるよう、一層努めてまいります。



大学院医歯薬学研究所 薬学域薬科学部門 分析科学分野 教授  
田中 秀治

薬学部では平成30年度入試から4年制の創製薬科学科と6年制の薬学科を学科別募集し、各学科の特色をより明確にした教育を行っています。センター長のもと、医療系学部・学科が集結した蔵本キャンパスの強みを活かし、医療人の養成に取り組みます。



教養教育院 医療基盤教育分野 教授  
岩田 貴

教養教育から卒前高学年・卒後(研修医)教育の一貫した医療基盤教育の実践をしております。最近ではこの活動が評価され、県外での講演会も行っております。今後も質が高く安全な医療を提供できる人材の育成を目指し、スキルスラボを活用した基本的技能から高度技術にわたるシミュレーション教育を実践し、効果的な評価・フィードバック方法を研究・実践したいと思います。



大学院医歯薬学研究所 医学域栄養科学部門 臨床食管理学分野 教授  
竹谷 豊

医科栄養学科は、高度な技能・知識を有する管理栄養士を養成するために大学院教育の改革に取り組んでいます。栄養学の専門性をいかしつつ、多職種連携教育やシミュレーション教育など、蔵本地区の教育連携に尽力していきます。



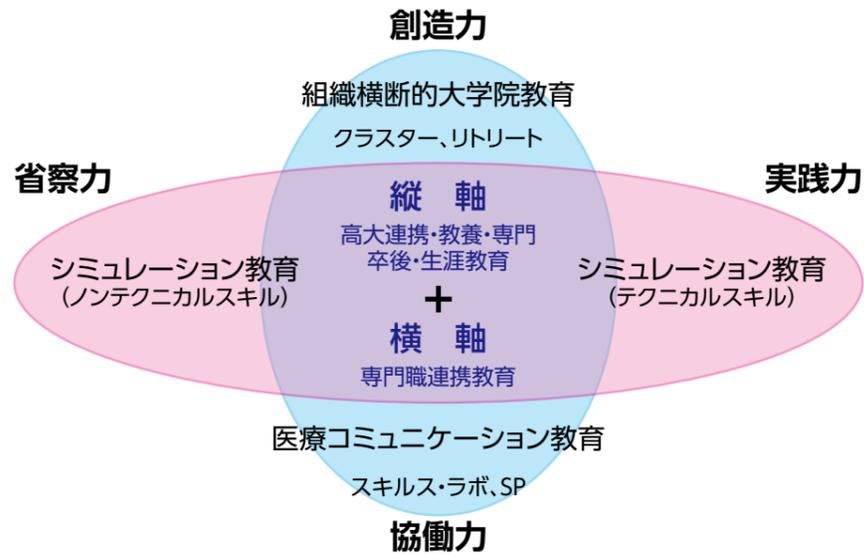
大学院医歯薬学研究所 歯学域口腔科学部門 口腔分子病態学分野 教授  
石丸 直澄

昨年度から引き続き副センター長を務めさせていただきます。国立大学を取り巻く様々な財政改革、組織改革が迫られている中、優秀な医療人の育成こそが徳島大学の財産になることを肝に銘じて、センター一丸となって前進していく所存です。



大学院医歯薬学研究所 保健学域保健科学部門 地域看護学分野 教授  
岩本 里織

今年度から、保健科学教育部代表として副センター長に就任させていただきました。地域包括ケアシステム構築が急がれる中、地域を視野に入れ多職種と連携しながら専門性を発揮できる医療専門職の育成に、皆様と協力しながら尽力していきたいと思っております。



## 医療系学部における組織・領域横断的の大学教育支援

### 2018 Tokushima Bioscience Retreat

日程:2018年9月20日(木)~9月22日(土)

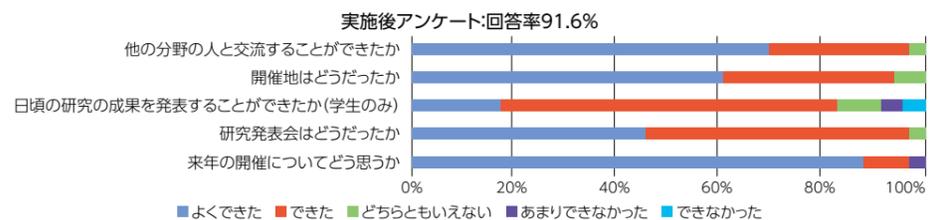
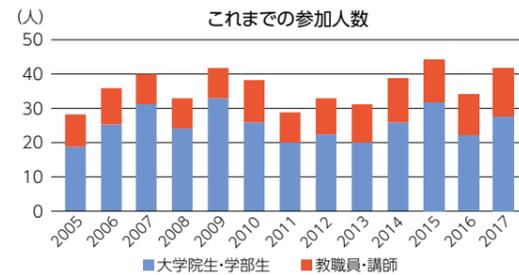
場所:リゾートホテル オリビアン小豆島

特別講師:岩崎 有作 先生(京都府立大学大学院 生命環境科学研究科応用生命科学専攻 動物機能学研究室 教授)

演題:「希少糖アルロースのGLP-1分泌と求心性迷走神経を介した過食、食リズム異常、肥満、糖尿病の改善作用」

参加者:学生23名、教職員13名

14回目の開催です。2016年度より蔵本・常三島キャンパスより参加者を募り、全学的取り組みとして開催されています。Presentation,discussion, recreationを英語で行います。



### 教育クラスター活動支援

- ①コアセミナー開催支援(平成29年度43回開催)
- ②6クラスターそれぞれが開催するミニリトリート開催支援(平成29年度参加者数 大学院生/学部生70名、教職員95名)

### 大学院共通科目e-learning(MLS)運営支援

8科目のコンテンツ撮影、編集、配信(合計8科目)

## 医療系学部における専門職連携教育支援

### ＜専門職連携教育の目標＞

- ・医療専門教育を受けているすべての学生が、より安全で、より質の高い医療を提供するためにともに学び、お互いから学びあう。



### ①SIH道場 第12回チーム医療入門蔵本地区1年生合同WS

平成30年9月28日(金) 13:00-17:00

#### テーマ 地域包括ケア

参加学生 415名

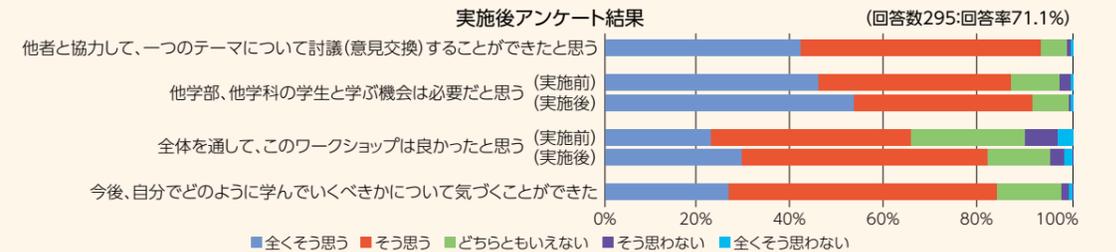
(医学科113名、栄養学科49名、保健学科看護学専攻71名、保健学科放射線技術科学専攻36名、保健学科検査技術科学専攻18名、歯学科35名、口腔保健学科14名、薬学部79名 出席率97.6%)

#### 到達目標

- 1)他者と協力して、ひとつのテーマについて討議(意見交換)し、プロダクトを作成できる。
- 2)地域包括ケアに必要とされることについて討議することができる。
- 3)今後の自分の学習のあり方について討議することができる。
- 4)グループで討議した結果をほかのグループにプレゼンテーションできる。

#### 概要

初年次教養教育(医療基盤教育)5-6名のグループに構成された異なる学科の学生が相互交流し、異なる観点から意見交換を行い、プロダクトの作成、意見交換を行う。



### ②第6回学部連携PBLチュートリアル

平成30年10月31日(水)9:00-12:00、11月14日(水)9:00-12:00

#### テーマ 在宅老々介護の支援

参加学生 医学科4年生111名、医科栄養学科3年生48名、歯学科4年生43名、口腔保健学科3年生15名、保健学科看護学専攻3年生36名、保健学科検査技術科学専攻4年生3名、保健学科放射線技術科学専攻4年生38名

#### 到達目標

- 1)患者シナリオをもとに全人的な視点からグループで討議できる。
- 2)不足な知識や情報について分担して自己学習し、その内容をグループメンバーで共有できる。
- 3)抽出した問題点についてプロブレマッピング方式を用いて検討し、解決方法を立案・修正できる。
- 4)他職種の役割を理解し、同時に自職種の役割についても理解を深める。

#### 概要

患者シナリオを用いて、グループ討議と自己学習を行いながらプロブレマッピングを作成、全人的な視点から問題点の解決方法を立案する。



### ③チーム医療臨床実習

第7回チーム医療臨床実習 平成30年6月27日

参加学生 医学科2名、薬学科5名

第8回チーム医療臨床実習 平成30年10月10日

参加学生 医学科6名、薬学科4名

#### 到達目標

入院患者のケア・治療について多職種で討議する。

#### 概要

医学科学生による症例提示の後、薬学科学生・看護学専攻学生らと交えて討議する。

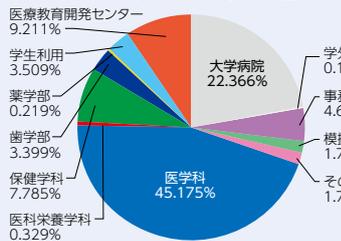


## 臨床技能学習施設(スキルス・ラボ) Clinical Skills Laboratory (CSL)

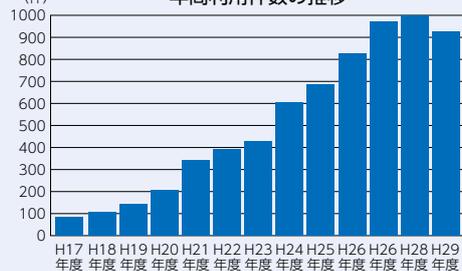
当センターのスキルス・ラボは蔵本キャンパスのほぼ中央に位置し、専門の手技に対応できるシミュレーション教育機材(Simulator)が数多く配置されています。基本的～専門的な医療技術・技能(クリニカルスキル)とともに、状況把握やコミュニケーション、チームワークといったノンテクニカルスキルを学ぶ場として学内医療系各学部生だけでなく、徳島大学病院や関連医療機関すべての医療職に携わる人々に利用されています。

平成29年度スキルス・ラボの稼働実績

2017年度 所属別利用件数の割合 (912件のべ15,212名)

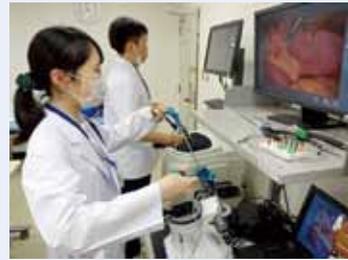


年間利用件数の推移



### 低侵襲手術手技トレーニングプログラム

「未固定遺体とシミュレータを用いた新たな実践型内視鏡下低侵襲手術トレーニングプログラムの構築」(第3期中期目標期間における重点的取組)の一環として、医学部臨床実習学生を対象に、内視鏡手術トレーニングボックスを用いた鉗子操作の基本的トレーニングや腹腔鏡手術高機能シミュレータ(LAP Mentor)を用いた実践的な手術手技トレーニングを行っています。これによって、内視鏡下低侵襲手術の実施に必要とされる3次元での空間認識や視覚-手指協調運動能力の向上と臨床解剖の理解をはかるとともに、卒業後のクリニカルアナトミーラボ(CAL)での未固定遺体を用いた高度な手術手技修練と先進的な医療手技の開発・研究に繋がっていきます。



### 中心静脈カテーテル(CVC)挿入個別講習会(シミュレーション教育)

超音波ガイドを使用した中心静脈カテーテル挿入方法、およびその介助方法を修得する講習会です。毎月2回、定員2~3名で開催されており、少人数で効果的に学ぶことができます。ビデオフィードバックを用いて、自分の手技を客観的に見直すことができます。徳島大学研修医をはじめ、徳島県下の病院から多くの研修医・医師が学んでいます。



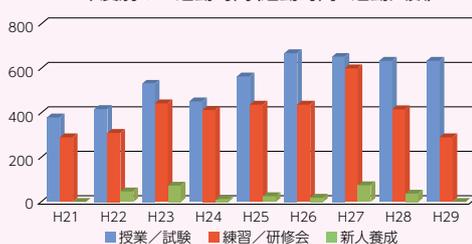
受講者のべ人数: 120名  
受講者所属施設: 徳島大学病院、徳島市民病院、徳島県立中央病院、健生病院

## 模擬患者(SP)参加型教育の実施・発展支援

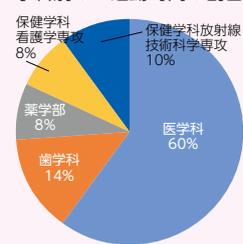
模擬患者育成および派遣  
一般市民ボランティアである模擬患者の協力を得て、医療コミュニケーションを学ぶ学習を支援しています。現在25名が登録しており、医療系学科の授業・実習・試験に協力しています。学生は様々な医療者-患者の疑似体験を繰り返しながら、自分自身のコミュニケーションを振り返り、教員-学生-模擬患者の三者で意見交換をしながら学びます。



年度別のべ活動時間(活動時間×活動人数)



学科別のべ活動時間の割合



## 医学教育に関する研究実績(医療教育開発センター関係)

### 論文等

赤池雅史：多職種連携教育で推進する医療教育学 日本栄養学教育学会雑誌 3(1)：10-14, 2018

### 学会発表

Takashi Iwata, Masashi Akaike, Kouzou Yoshikawa, Jun Higashijima, Masaaki Nishi, Chie Takasu, Hideya Kashiwara, Daichi Ishikawa and Mitsuo Shimada : Development of the simulator for laparoscopic eye hand coordination training for teaching oneself training., SAGES, Houston, Mar. 2017.

吉田光輝, 滝沢 宏光, 吉田 卓弘, 坪井 光弘, 河北 直也, 澤田 徹, 梶浦 耕一郎, 鳥羽 博明, 川上 行幸, 近藤 和也, 丹黒 章, 岩田 貴, 赤池 雅史, 金山 博臣, 東野 耕作, 鶴尾 吉宏 : 《考える外科学》未固定遺体を用いた腹腔鏡手術トレーニングの経験, 第42回日本外科学会連合学会学術集会, 2017年6月.

吉田光輝, 滝沢 宏光, 澤田 徹, 河北 直也, 坪井 光弘, 梶浦 耕一郎, 鳥羽 博明, 川上 行幸, 近藤 和也, 丹黒 章, 岩田 貴, 赤池 雅史, 金山 博臣, 東野 恒作, 鶴尾 吉宏 : 鏡視下手術時代の教育の開発未固定遺体を用いた腹腔鏡手術トレーニングの経験, 第42回日本外科学会連合学会学術集会, 2017年6月.

吾妻 雅彦, 長宗 雅美, 岩田 貴, 川添 和義, 石澤 啓介, 竹谷 豊, 西岡 安彦, 赤池 雅史 : 徳島大学における担当患者を用いた多職種連携教育の取り組み, 第49回日本医学教育学会大会, 2017年8月.

三笠 洋明, 赤池 雅史, 西村 明儒 : 学生の視点に基づいた授業改善の実践とその成果, 第49回日本医学教育学会大会, 2017年8月.

岩田 貴, 鳥田 光生, 東島 潤, 西 正暁, 柏原 秀也, 高須 千絵, 石川 大地, 長宗 雅美, 吾妻 雅彦, 赤池 雅史 : 腹腔鏡下ベグタットトレーニングの自学実習を目指したシミュレータの開発, 第49回日本医学教育学会大会, 2017年8月.

赤池雅史：多職種連携教育で推進する医療教育学 第6回日本栄養学教育学会学術総会 招待講演I 2017年9月16日

Yoshiko Yamada, Keigo Yada, Hiroyuki Nodera, Koichi Sairoy, Masashi Akaike<sup>3</sup>, Akiyoshi Nishimura : Effectiveness of the medical English course taught by an all-Japanese clinician team. 第21回日本医学英語教育学会, 2018年7月28日-29日, 東京

三笠洋明, 赤池雅史, 西村明儒 : 医療系学部におけるアクティブラーニングの実施状況と満足度および自学自修時間との関係, 第50回日本医学教育学会大会, 2018年8月3日, 東京